

2 指導案

「より機能的で安全に使えるライトにするにはどうしたらよいか」（本時 2 / 17）

(1) 目標

製作する電気スタンドを実際に使う立場になって、機能性や安全性、使用場所との調和について考えることができる。（工夫・創造）

(2) 授業構想

前時では17時間の授業の流れをつかみ、作品のイメージを思い浮かべながら電気スタンドに用いるそれぞれの基本的な部品の名称や用途を確認した。本時は、与えられた条件である機能性や安全性、使用場所との調和の3つを下に、どんなライトにしたらよいかを考えさせる。家にある照明器具やスタンド型電気機器を観察してきて、オリジナル電気スタンドに利用できるものがないかを発表し合いながら、これからの作品作りに生かす。

(3) 指導過程

学 習 活 動（子供の思い・考え）	教 師 の 支 援 ☆評価
○使用する部品を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・電源プラグ，コード ・タッチセンサー回路 ・ランプ，ソケット ・支柱，台 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒に分かりやすいように実物を渡し，それぞれ物を見ながら確認させる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;">より機能的で安全に使えるライトにするにはどうしたらよいか</div>	
○家庭で観察してきたことを発表する。 <p><使いやすさ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・タッチ部分は大きい方がよい。 ・コードの長さを調節するとよい。 <p><安全性></p> <ul style="list-style-type: none"> ・家のハロゲンヒーターには倒れるとスイッチが切れるものがあった。 ・土台の角を丸くする。 <p><使用場所との調和></p> <ul style="list-style-type: none"> ・支柱や台に色を付けて部屋の雰囲気合うようにするとよい。 ○自分の電気スタンドに利用できることを考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・タッチ部分と同じ材質の金属板を使えばよい。 ・転倒時消灯スイッチというのがあるからこれを付けよう。 ・部屋の壁紙と同じ色に塗りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭で観察してきたことや，普段使っていて便利だと思ったことを発表させる。 <p>☆それぞれ家庭で発見してきたものがあるか話合いの場面から判断する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の意欲を失わせないように，出されたアイデア生かすように助言する。 <p>☆自分の作品に取り入れるものを見付けることができたかワークシートから判断する。</p>

(4) 評価

自分で見つけてきた工夫や友達の意見を取り入れて、自分のライトがより機能的で安全に使える物にするための工夫を考えたか。（話合い・ワークシートより）